

## 「この町で子育てできて、良かった！」と 言ってもらえる町をめざして

「地域子育て支援拠点運営マニュアル」ワーキングチームメンバー

平群町福祉課 子育て支援センター

係長 野口 智恵子

平群町の子育て支援センターでは、服のリサイクルコーナーやベビーベッド・チャイルドシート・ベビーバス・体重計などの育児用品の無料貸し出しをしています。最近では、「里帰り出産なんです・・・いろいろ貸していただけると隣の奥さんから聞いて・・・」と、おばあちゃんネットワークからの情報で来館される祖父母世代も増えています。

「外国に嫁いだ娘が孫と帰ってくるから、空港までチャイルドシートをつけて迎えに行きたいんです」と嬉しそうに来られる方もあります。

若い夫婦が「来月出産なんです・・・」と2人で来館し、「あれも必要かな?」「これもかな?」と楽しそうに品定めする微笑ましい日もあります。



第3子を出産直後のママが緊急入院したことがあります。支援センターで出会った4組の親子で仲良く子育てを楽しんでいたのに、本当に突然のことでした。

センターのスタッフは、子どもたちのことなど心配ないように、できる限りの手配をしました。ママは病床で「私も主人もこの町が故郷でもなく、たまたま結婚してここに家を構えただけなんです。初めての場所で、ママ友にも支援センターで出会って、またこうしていろいろみなさんに良くしていただいて、夫婦2人で『本当にこの町に住んでよかったね!』と言って感謝しているんです」と話してくれました。

感謝するのはこちらの方で、子育て支援の大切さや人と人とのつながりのすばらしさや、何よりもママやパパの素直な心に触れさせてもらって、支援者としての熱い魂をいただいたようでした。

住民の皆さんに、いろいろな形で利用していただいて、つながりの輪を広げ、「この町で子育てできて本当に良かった」と感じてもらえるように励まなければと思った次第です。